

令和4年度 北見医師会看護専門学校 自己評価 (令和3年度の運営について)

評価実施期間 R4. 3.30~4. 5

1. 評価項目について

本校の学校運営の方針と「学校評価を活かした専修学校の質保証・向上に向けて～専修学校における学校評価実践の手引き～」専修学校における学校評価ガイドラインを基にして、評価の領域を11区分し、各領域ごとに評価項目を設けた。

2. 評価の方法について

教職員に対して、各評価項目を5段階で評価し、その評価点の平均値を算出して評価項目の評価点とする。また、各領域の評価点は、領域内の各評価項目の評価点の平均値とする。

5：そう思う、4：ややそう思う、3：どちらでもない、2：あまり思わない、1：思わない

大項目		評価項目	平均点	大項目
I 教育理念・目的・卒業生像	1	学校の理念・目的・卒業生像が教職員・学生・関係者に周知されている。	4.8	4.7
	2	自分は教育理念・教育目標・卒業生像を理解している。	4.5	
II 学校運営	3	学校運営会議は適切に運営されている⇒組織体制と意思決定システムが適切に機能している	4.1	4.5
	4	職員会議は適切に開催されている ⇒教職員の連携が図られている	4.1	
	5	入学試験委員会は適切に開催されている。	4.8	
	6	学則等諸規程の整備、見直しは適切に行われている。	4.8	
	7	教育活動等に関する情報公開は適切に行われている。	4.7	
III 教育活動	8	教育理念、教育目的に沿った教育課程の編成がされている。	4.5	4.2
	9	自分は教育課程を理解している。	3.9	
	10	教育課程を学生に周知している。	4.5	
	11	学生の授業評価が行われている。	4.7	
	12	看護師資格試験に関する指導計画が立案されている。	4.4	
	13	成績評価・単位認定、卒業判定会議により適切に成績を認定している。	4.6	
	14	自分は指導力育成など資質向上のための研修等に参加している。	3.5	
IV 学生指導等	16	学生の安全管理の取り組み（総合補償保険）が行われている。感染予防対策（行動・体調チェック表）	4.8	4.6
	17	学生・保証人から相談を受けられる支援体制がある。	4.6	
	18	進学・就職指導にかかる支援体制がある。	4.4	
V 学修成果	19	看護師資格試験の合格率等から課題、問題点を把握し、その対策が行われている。	4.1	4.2
	20	途中退学の予防対策について個別面談・保護者面談等で行われている。	4.7	
	21	卒業生の社会的な活躍及び評価を把握している。	3.8	
VI 学生支援	22	学業・学校生活に関する支援体制がある。	4.3	4.5
	23	健康診断が定期的に行われている。	4.9	
	24	学生が心身について相談できる状態が作られている。	4.9	
	25	保護者説明会が適切に行われている。	3.7	
	26	奨学金制度について周知し手続等について支援している。	4.6	
	27	休学・復学者に対する対応が適切にされている。	4.7	
	28	中学校・高校等との連携による職業教育の取り組みが行われている。	4.5	
VII 教育環境	29	校舎の管理（環境整備、巡回、施錠、点検など）が、適切に行われている。	4.1	4.3
	30	看護教育に必要な教材・教具が整備されている。	4.4	
	31	衛生面（手洗い・含嗽など）・感染防止対策が適切に行われている。	4.7	
	32	教育に必要なネット環境が整備されている。	3.9	
	33	図書室は学生に使用しやすい環境に整備されている。	4.3	
	34	定期的な防災訓練が行われている。	4.3	
	35	実習施設、実習時の通学バス・寮などの環境が整っている。	4.5	
	36	チャーター制度により、学生間の連携・連帯意識等の育成が配慮されている。	4.1	
VIII 学生募集	37	高等学校等に定期的に学校説明会を実施している。	4.9	4.6
	38	学科案内、HPの記載内容に錯誤がないか点検している。	4.6	
	39	オープンキャンパスの開催時期や募集は適切である。	4.1	
	40	HPに学校行事・資格取得・就職状況等の情報を適時載せている。	4.6	
IX 財務	41	教職員が予算、決算等の財務状況を把握できるようにしている。	3.5	3.5
X 法令等の遵守	42	法令、専修学校設置基準等が守られている。	4.9	4.5
	43	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	4.4	
	44	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。	4.3	
XI 社会貢献・地域貢献	45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	4.3	4.5
	46	学生が定期的に学校周りのボランティア清掃を行っている。	4.7	

3. 実施結果及び課題

・令和3年度の自己評価の全体平均は4.37（前年度+0.02）となった。

・評価4未満の小項目が7項目。Ⅲ-9自分は教育課程を理解しているについては回答者の学校経験年数により影響され、R3年度は入職者2名いたため一概に評価が低下したとは言えない。

Ⅲ-4研修等の参加はオンラインにより受講しやすくなったが、興味・関心の持てる研修が少ないなど個人によって理由が異なる。是非受講してもらいたい研修については業務調整し受講を勧めたい。

Ⅲ-15看護研究に取り組んでいるは一部の教員が携わっている現状である。研究に対する意欲と時間確保、教員間の協力など、環境調整をしていく。V-21卒業生の社会的な活動及び評価の把握は、就職施設と卒業生の協力を得てHPに掲載した。R4年度は卒業生の動向についてを個別に調査する予定。VI-25保護者会が適切に行われているは、コロナ禍の影響により実施しなかったが、必要に応じて保護者との個別面談を実施した。R4年度はzoomのより開催していく。VII-32教育に必要なネット環境が整っているは、前年度よりも整ったが未だICT化への課題がある。IX-41教職員が予算、決算時の財務状況を把握できるは、9～10月に予算執行状況について把握する機会を持つ。予算執行状況報告書を回覧し各自が状況把握をしていく

・重点課題 1. 看護師国家試験対策を強化し合格率90%を目指す。学生個々の学習状況を把握し対応方法を検討し実施する

2. 受験者・入学者の確保：受験者数、入学者数増加のために周辺地域の学校訪問・説明会で本校をアピール、HP等での広報活動を継続する。社会人入学生増加のための方策を検討する

3. ICT環境の整備：R5年度iPad導入に向けて使用基準・ルール等、環境整備をしていく